

新宮川水系流域治水プロジェクトの策定

- 令和2年9月に熊野川流域治水協議会を設立。
- 新宮川水系のあらゆる関係者が協働し、「新宮川水系流域治水プロジェクト」を令和3年3月に策定。
- 今後、関係者を追加するとともに、プロジェクトのフォローアップを実施。

■熊野川流域治水協議会構成員 (R3.3 第4回熊野川流域治水協議会開催時点)

機 関	構 成 員
熊野市	市長
紀宝町	町長
五條市	市長
天川村	村長
野迫川村	村長
十津川村	村長
下北山村	村長
上北山村	村長
田辺市	市長
新宮市	市長
北山村	村長
三重県	防災対策部長、農林水産部長、県土整備部長
奈良県	危機管理監、水循環・森林・景観環境部長、 県土マネジメント部長
和歌山県	危機管理監、農林水産部長、県土整備部長
近畿農政局	南近畿土地改良調査管理事務所長
近畿中国森林管理局	和歌山森林管理署長
近畿地方整備局	紀南河川国道事務所長
近畿地方整備局	紀の川ダム統合管理事務所長
近畿地方整備局	紀伊山系砂防事務所長
森林研究・整備機構	和歌山水源林整備事務所長
森林整備センター (オブザーバ)	
奈良県	食と農の振興部長、地域デザイン推進局長
津地方気象台	津地方気象台長
奈良地方気象台	奈良地方気象台長
和歌山地方気象台	和歌山地方気象台長
近畿地方環境事務所	環境対策課長
電源開発株式会社	西日本支店長
関西電力株式会社	水力事業本部 吉野水力センター所長

■新宮川水系流域治水プロジェクト(R3.3策定)

新宮川水系流域治水プロジェクト 【位置図】

～紀伊半島大水害の再度災害防止に向けた治水対策推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、新宮川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大の平成23年台風12号洪水（紀伊半島大水害）と同規模の洪水においても、資産が集中する本川下流部の新宮市市街地、紀宝町市街地においては、堤防からの越水を回避するとともに、流域における浸水被害の軽減を図る。

洪水ハザードマップの作成・周知(新宮市)

河川沿川での災害危険区域の調査

土地利用規制・誘導(紀宝町)

（奈良県）
・森林整備・治山事業
・防災教育・啓発活動等の推進
・水害リスク空白域の解消

（和歌山県）
・森林整備・治山事業
・防災教育・啓発活動等の推進
・水害リスク空白域の解消

（三重県）
・森林整備・治山事業
・防災教育・啓発活動等の推進
・水害リスク空白域の解消

（紀宝町）
・地区タイムラインの活用
・洪水ハザードマップの作成・周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
・防災教育・啓発活動等の推進

（新宮市）
・洪水ハザードマップの作成・周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
・土地利用規制・誘導

（和歌山県）
・森林整備・治山事業等の推進
・防災教育・啓発活動等の推進
・水害リスク情報の空白域の解消

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、輪中堤 等
- ・森林整備、治山事業
- ・利水ダム等12ダムにおける事前放流等(ダム諸量、気象情報等の情報共有を含む)の実施、体制構築(関係者:国、奈良県、和歌山県、三重県、関西電力(株)、電源開発(株)など)
- ・砂防事業
- ・校庭貯留
- ・排水機場、雨水ポンプの整備

■被害対象を減少させるための対策

- ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等)

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・地区タイムラインの活用
- ・防災教育・啓発活動等の推進
- ・水害リスク空白域の解消
- ・洪水ハザードマップの作成・周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

河道掘削(熊野川下流)

利水ダム(風屋ダム)

森林整備(隠伏後の森林)

校庭貯留

雨水ポンプの整備

排水機場の整備

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。